



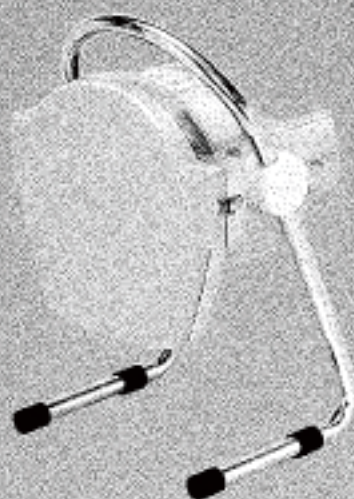
# PRO CHEF

## ミニスライサー

# 取扱説明書

ミニスライサー

型式 SS-250C



- このたびは、プロシェフ ミニスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用



## も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
■刃物円盤(別売品)のご案内	5
■注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●運転の手順	8
●プロテクターについて	9
■お手入れ	10
●毎日のお手入れ	11
●汚れが目立つときのお手入れ	11
■点検	12
●1年に1~2回の点検	12
●保管方法	12
■故障の見分け方と処置方法	13
■譲渡・廃棄	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション




# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

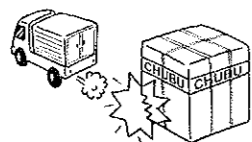
## 図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

## 警告

**お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること**

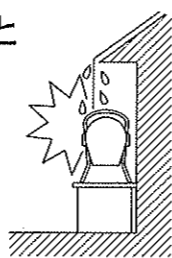
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

**屋外で使用しないこと**

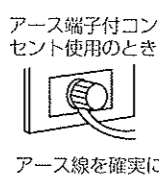
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

**アース工事を必ず行なうこと**

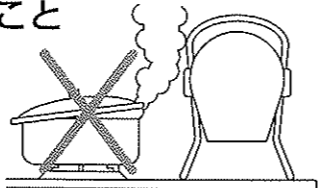
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

**湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと**

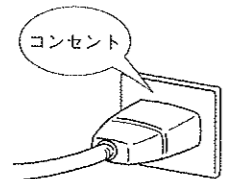
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

**電源は専用コンセントを使用すること**

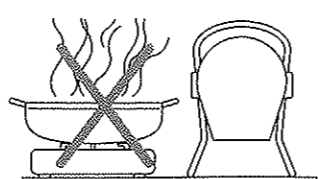
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

**熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと**

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

## 警告

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

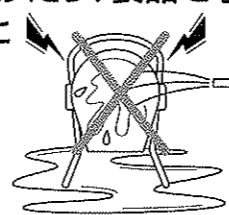
感電、ケガの原因になります。



禁止

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

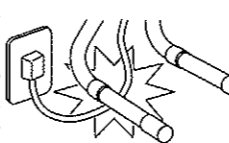
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

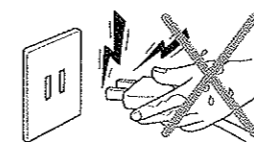
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

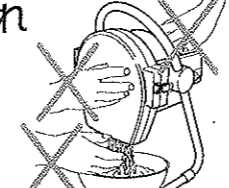
感電の原因になります。



濡手禁止

運転中にフタを開けたり、投入口や、野菜出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

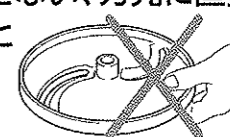
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

刃物円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

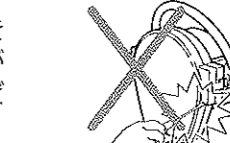
ケガの原因になります。



プラグを抜く

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

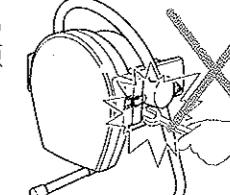
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

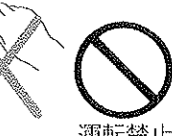
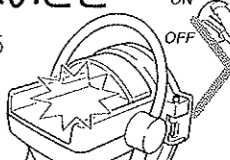
改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

投入口に押え棒・野菜が入っていないときは、運転しないこと

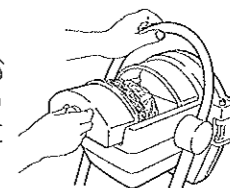
ケガをすることがあります。



運転禁止

食材を切削するときは、押え棒を使用すること

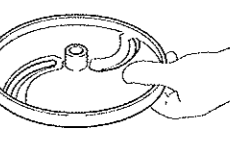
無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因になります。



押え棒

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



手袋着用

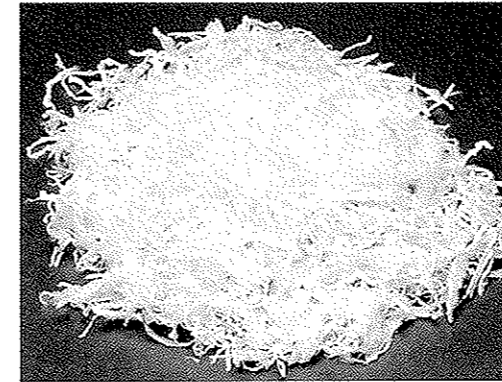


# 各部のなまえとその働き

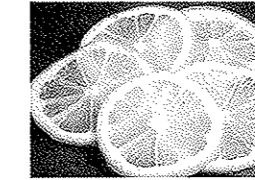
## ■使用目的

●キャベツ・大根などの野菜をスライスする製品です。

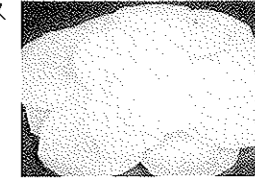
●刃物円盤(別売品)を交換すれば、用途いろいろ。



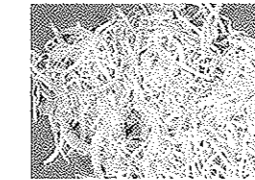
薄切りスライス  
キャベツ・タマネギ等



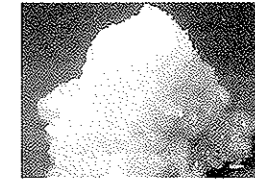
中厚切りスライス  
レモン・トマト  
キュウリ等



薄切りスライス  
大根・キュウリ  
ニンジン等



千切り  
ニンジン・大根  
キュウリ等



おろし  
大根・ニンジン  
おろし

## ■本体

ピン

フタを外すとき抜きます。

フタ

運転中は必ず閉じてください。

ガイドカバー  
(取り外し可能)

ご使用のときは必ず取り付け  
てください。

押え棒

投入した野菜を押しつ  
けます。

投入口

ガイドフレーム  
野菜を投入します。

電源スイッチ  
運転・停止の操作に使  
います。

フック  
フタと切削室を固定し  
ます。

アース線  
万一の感電防止のため必  
ずアース工事をします。

電源コード  
先端のプラグを単相  
100V専用コンセン  
トにつなぎます。

野菜出口

ナット

円盤を固定します。時計方向  
に回すと外れます。

刃物円盤(薄切用スライス円盤)  
(スライス厚さ0.8mm/標準装備)

切削室

本体カバー

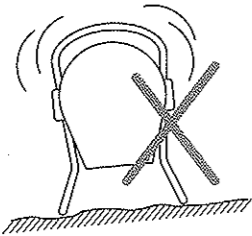
足フレーム

製品を支えます。上部  
は運搬するときに取手  
として使用します。

## ⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え  
付けること

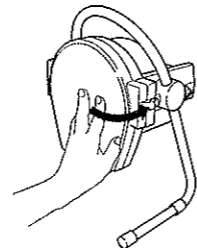
据え付けに不備がある  
と転倒、落下によるケ  
ガなどの原因になるこ  
とがあります。



水平設置

運転時は必ずフタを閉めること

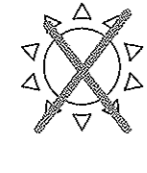
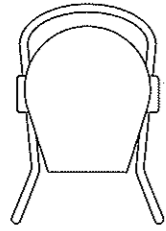
ケガの原因になり  
ます。



フタを閉める

直射日光の当たるところで使用しないこと

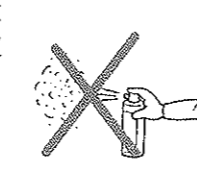
プラスチックが  
割れたりして危  
険です。



禁止

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮  
発性、引火性のあるものを置かないこと

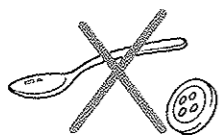
スイッチの火花な  
どで引火し、発火  
の原因になること  
があります。



禁止

投入口の中に食材以外の異物(スプーン・  
つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

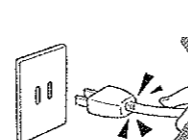
モーターが止まり、  
発熱、火災の原因に  
なることがあります。



異物禁止

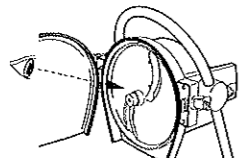
電源プラグを抜くときは、電源コードを  
持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜い  
てください。電源コード  
を引張るとコードが傷つ  
き、火災、感電の原因に  
なることがあります。



禁止

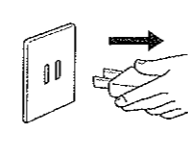
運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)  
にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(ス  
プーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削室の中にな  
いことを確認すること



異物確認

1日の営業が終了したら、安全のため電  
源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグ  
をコンセントから抜くこと

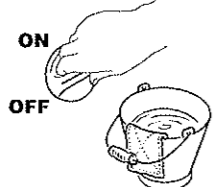
電源プラグやコンセ  
ント部にほこりが溜まっ  
て発熱、発火の原因に  
なることがあります。



プラグを抜く

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを  
OFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入っ  
て感電したり、やけどの原  
因になることがあります。  
また、製品が動き出して、  
ケガの原因になります。



プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に  
依頼すること

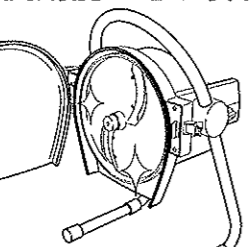
放置しますとケガの原  
因になることがありま  
す。



専門業者

切削室内や円盤は使用前に必ず掃除をす  
ること

掃除をしないと、雑  
菌が繁殖し、健康傷  
害の原因になること  
があります。




掃除


このお使いになっている製品を他に売ったり、  
譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安  
全な正しい使い方を知る  
ために、この取扱説明書  
を製品本体の目立つ所に  
テープ止めすること




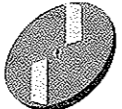
テープ止め


## ■刃物円盤（別売品）のご案内


**■薄切用スライス円盤（2枚刃）**  
 SS-0.5B (0.5mm厚)・SS-0.8B (0.8mm厚)  
 SS-1.2B (1.2mm厚)・SS-1.5B (1.5mm厚)


**■薄切用スライス円盤（3枚刃）**  
 SS-3B (0.8mm厚)


**■中厚切用スライス円盤**  
 SS-2.0B (2.0mm厚)・SS-2.5B (2.5mm厚)  
 SS-3.0B (3.0mm厚)


**■千切円盤**  
 SS-C1B (1.2×3.0mm)・SS-C2B (1.5×3.0mm)  
 SS-C3B (2.0×4.0mm)


**■おろし円盤 SS-D1B**

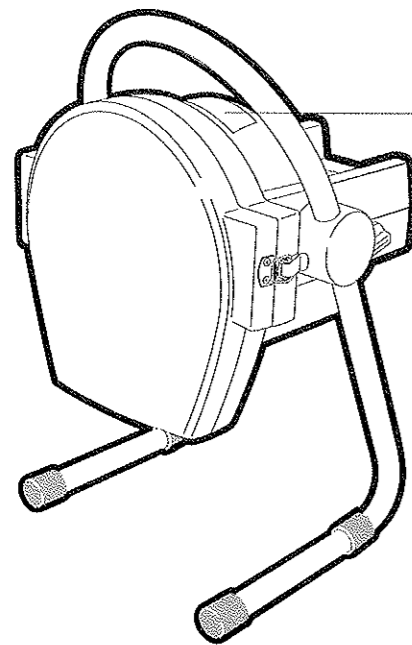


■おろし用アタッチメント  
(押し棒付)

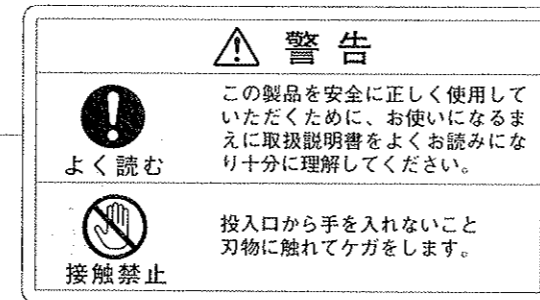
## ■注意ラベルの貼付位置

### お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。  
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

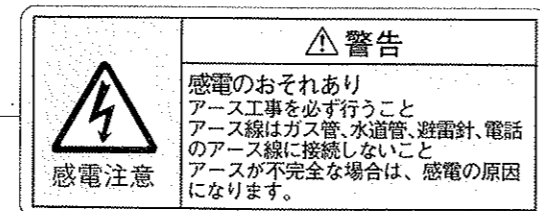


品名：PLラベル 70



(ガイドカバー上面に貼り付けてあります)

品名：PLラベル/カンデン 702



(本体カバー側面に貼り付けてあります)

## ■設置

### 警告

#### アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと



感電、ケガの原因になります。

#### 電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと



絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

#### 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと



熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

### 注意

#### 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



直射日光の当たるところで使用しないこと



プラスチックが割れたりして危険です。

## ■運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。  
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内、円盤などに入っている恐れがありますので、掃除をしてください。  
(P.11 毎日のお手入れ参照)

# ご使用方法

## 警告

運転中にフタを開けたり、投入口や、野菜出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

刃物円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

投入口に押え棒・野菜が入っていないときは、運転しないこと

ケガをすることがあります。



運転禁止

食材を切削するときは、押え棒を使用すること

無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因になります。



押え棒

## 注意

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削室の中にあることを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

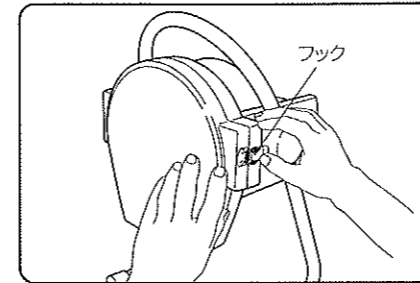
運転時は必ずフタを閉めること

ケガの原因になります。



フタを閉める

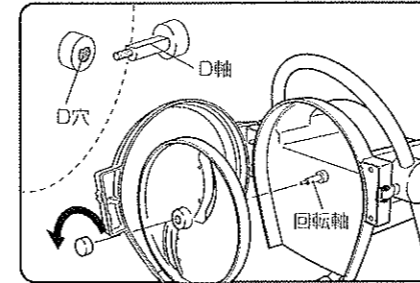
## ■運転の手順



1

フタを開ける。

- フックを外し、フタを開けてください。

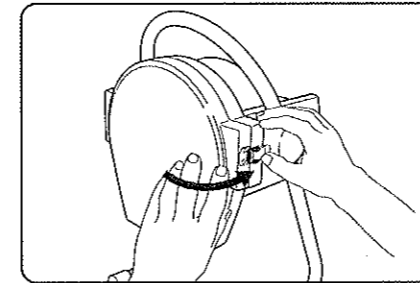


2

刃物円盤を取り付ける。

- 刃物円盤を回転軸にはめ込みます。刃物円盤のD穴と回転軸のD軸を合わせてはめ込みます。
- ナットを反時計方向に回し、しっかりと締め付けてください。通常のネジの逆回転です。ナットに「しまる」「ゆるむ」の回転方向が刻印してあります。

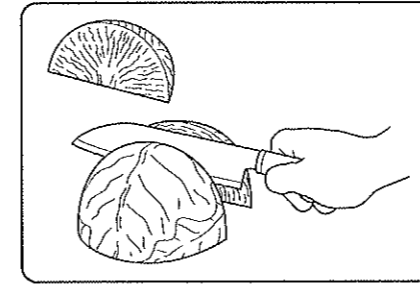
※刃物に触れないよう注意してください。



3

フタを閉める。

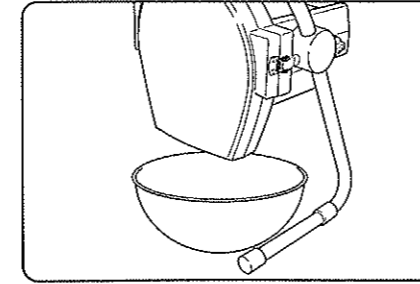
- フタを切削室に押し当て、フックを掛けてロックします。フタは必ず閉めてご使用ください。フタを開けたまま使用しますとケガの原因になります。



4

食材を用意する。

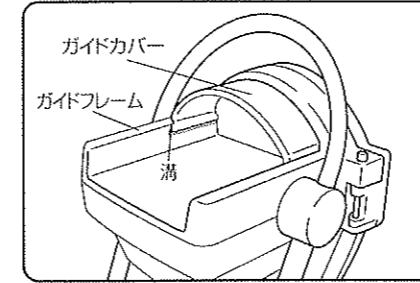
- スライスする野菜をあらかじめ投入口に入る大きさに切っておいてください。



5

容器を準備する。

- スライスされた野菜を受けるボールなどの容器を野菜出口の下に置いてください。

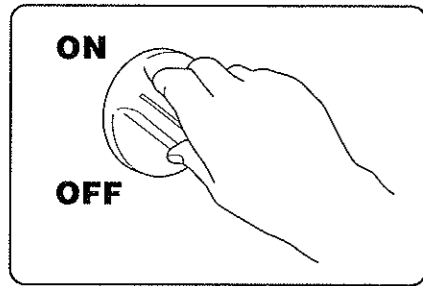


6

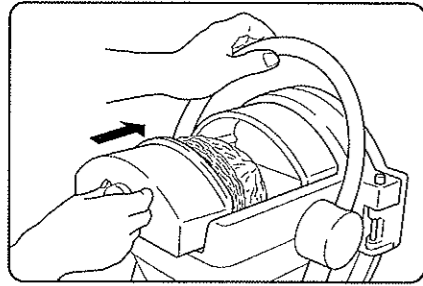
ガイドカバーを確認する。

- ガイドフレームの溝に確実ににはめ込まれていることを確認してください。正しく取り付けられていないと押え棒が入らない場合があります。

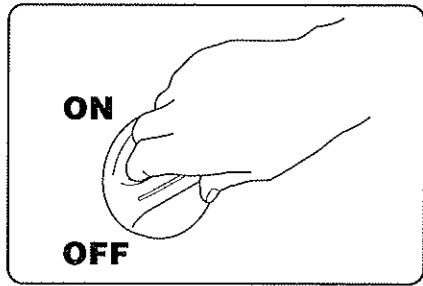
# お手入れ



**7** 電源スイッチをON(入)にする。  
 ●電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをON(入)にしてください。運転が開始します。  
 ※投入口に押え棒・野菜が入っていないときは、運転しないでください。ケガをすることがあります。



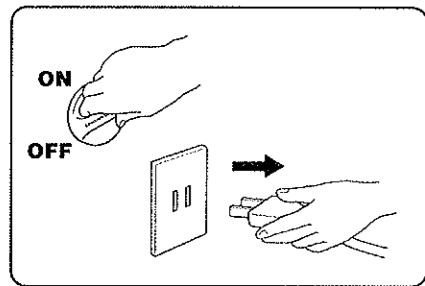
**8** 切削する。  
 ●投入口に食材を入れて「押え棒」を使用して押し込んでください。



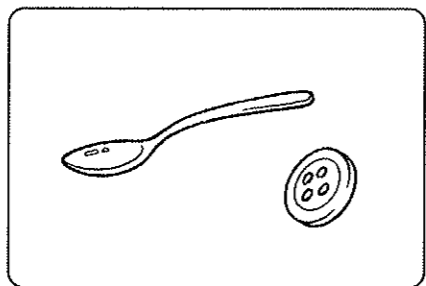
**9** 電源スイッチをOFF(切)にする。  
 ●運転が停止します。  
 ●一日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■プロテクターについて

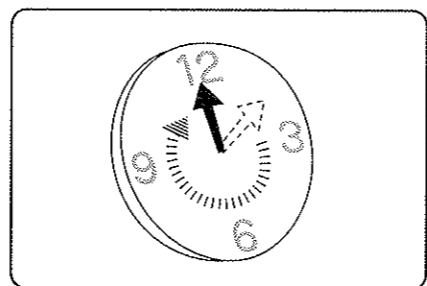
- モーターに負荷がかかり過ぎるとモーターの温度が上昇し、自動的にプロテクターが作動して製品を止める装置です。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



**1** 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



**2** 過負荷の原因を取り除いてください。食材・異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



**3** 1時間放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。  
 ※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

## 警告

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

刃物円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこなない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



手袋着用

## 注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

切削室内や円盤は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

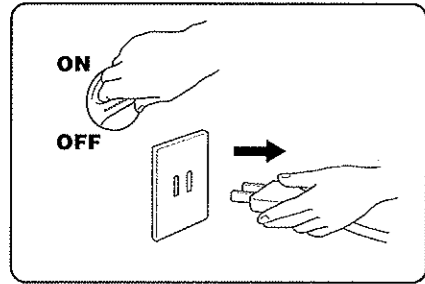
## お願い

- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック面をいためますので、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

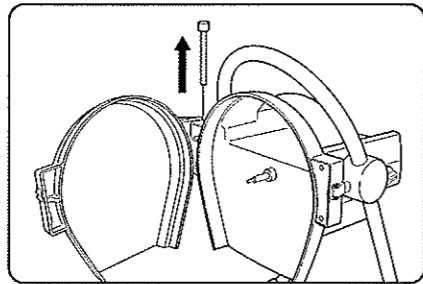


## ■毎日のお手入れ

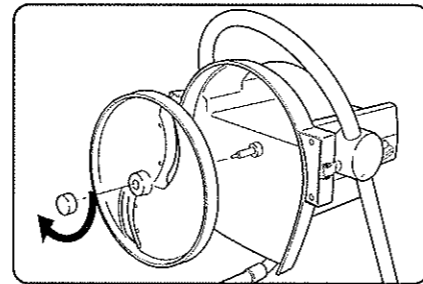
●ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が腐り衛生的に非常に悪くなります。



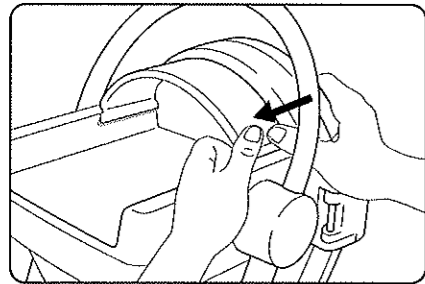
**1** 電源を切る  
電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



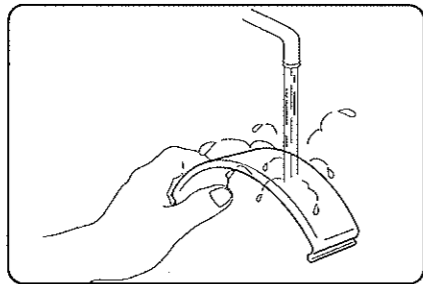
**2** フタを取り外す  
フタを開け、ピンを上へ引き抜くとフタが外れます。



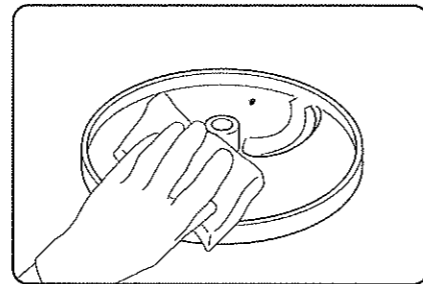
**3** 刃物円盤を取り外す  
円盤中央のナットを時計方向に回すと外れます。



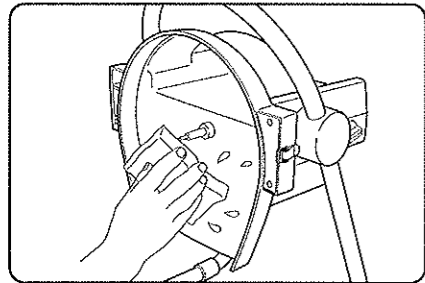
**4** ガイドカバーを取り外す  
ガイドカバーの両側を押えると外れます。



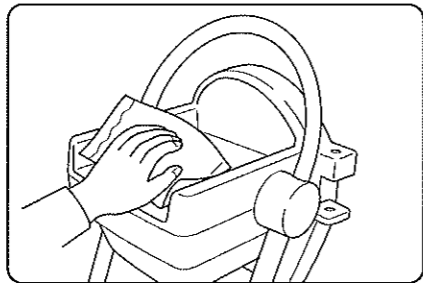
**5** ガイドカバー・フタの洗浄  
水で洗い流し、乾いた布で水気を拭いてください。



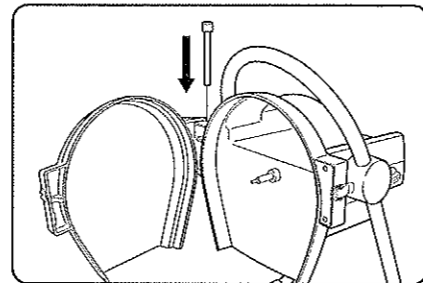
**6** 刃物円盤の洗浄  
水で洗い流し、乾いた布で水気を拭いてください。刃物で手を切らないよう十分注意してください。



**7** 切削室の掃除  
スポンジに含ませた水で洗い流してください。

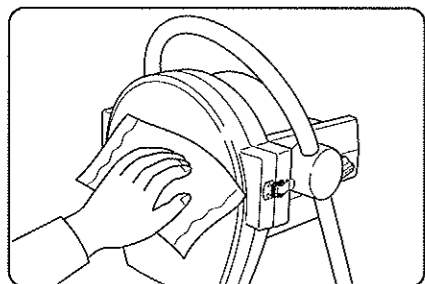


**8** 投入口の掃除  
濡れた布巾で拭いてください。



**9** 組み立てる  
④~⑧の逆の手順で組み立ててください。

## ■汚れが目立つときのお手入れ (本体外面)



●中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤分が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。

## ■1年に1~2回の点検

### 警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと  
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと  
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

### アース線の点検

●アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事に修理依頼してください。

### 電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

### ■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

# 故障の見分け方と処置方法

## 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）  
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

## お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。  
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.9 参照)
異常音がする	●刃物円盤がフタに当たっていませんか？	●刃物円盤を確実にセットしてください。
食材の切れ味が悪い	●刃物が摩耗していませんか？	●刃物を交換してください。

## 譲渡・廃棄

### 譲渡

## 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

### 廃棄

## 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

## 仕様

品名	ミニスライサー
型式	SS-250C
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	70/80W
定格時間	連続
質量	7.5kg
外形寸法	幅320×奥行270×高さ505mm
能力	キャベツ約1.5kg/分